

令和 6 年 4 月 4 日

政務活動費収支報告書

(あて先) 京田辺市議会議長

申請者 公明党
幹事 河田 美穂 印

京田辺市議会政務活動費の交付に関する条例施行規則第5条の規定により、次のとおり提出します。

〔収 入〕 (単位：円)

科 目	本 年 度 決 算 額	備 考
交 付 金	330,000	
合 計	330,000	

〔支 出〕 (単位：円)

科 目	本 年 度 決 算 額	備 考
調 査 研 究 費	180,116	
研 修 費	0	
広 報 費	0	
広 聴 費	0	
要請・陳情活動費	0	
会 議 費	0	
資 料 作 成 費	0	
資 料 購 入 費	63,818	
人 件 費	0	
事 務 所 費	79,330	
合 計	323,264	

収支差引残高	6,736 円
--------	---------

公明党

1/1

令和 5 年（2023 年）8 月 14 日

（あて先）京田辺市議会議長 河本 隆志

京田辺市議会

会 派 名 公明党

代表者氏名 河田美穂

調査研究報告書

次のとおり報告します。

調査研究項目	水俣市：「みなくるバスの運営」について。 熊本市：「フレンドリーオンライン事業」不登校対策について。 別府市：「空き家対策」での空き家の活用方法、成功事例について。
実施年月日	令和5年8月2日～令和5年8月4日
実施場所	熊本県水俣市・熊本県熊本市・大分県別府市
参加者氏名	河田美穂、向川 弘
費用	¥180,116

【内容】

◆1 日目 2023 年 8 月 2 日 10:00～（水） 熊本県水俣市役所

視察先：熊本県水俣市 人口：22,447 人。世帯数：11,191 世帯。

<水俣市の概要>

水俣市は熊本県の最南端に位置しており、南は鹿児島県に隣接し、西にはリアス式海岸が 30km にわたり続いており天草の島々をはるかに望む景勝の地。市全域の 75% が森林・原野で、三方を山と丘陵に囲まれている。水俣川の河口に広がる平坦地は 470ha で市全体の 4% であり、ここに商店や事業所のほとんどが立地するとともに人口の 65% が居住している。面積は 163.29km²。

<研修内容：「みなくるバスの運営」について>

<経緯・概要>

利用者の減少と事業者に対する補助金の増加、市民からのコミュニティバス導入への要望を受けて CB 導入委員会を設置した後、平均乗客密度が 1 人台の路線にコミュニティバス導入と路線の統廃合に着手された。

H15 年：茂川・梅戸港線（赤色バス）導入。全区間大人 150 円、子ども 80 円
H18 年：大川線、中屋線（黄色バス）。2 区間大人 150 円、子ども 80 円
3 区間大人 300 円、子ども 150 円
H19 年：湯ノ児線（青色バス）。全区間大人 150 円、子ども 80 円
H20 年：茂道・湯の鶴線（オレンジバス）2 区間大人 150 円、子ども 80 円
3 区間大人 300 円、子ども 150 円

水俣市内のコミュニティバスとして「みんなが乗ってくるバス、集まってくるバス」になるような願いを込めて「みなくるバス」と名付けられた。利用者が一目で行き先がわかるよう車体を 4 色で色分けし市内全域を運行している。

H22 年度からはコミュニティバスが無い地域には「乗合タクシー」を 8 路線運行している。（料金はほとんどの路線が一律 300 円、一部 150 円と 500 円の路線がある。）

さらに、スクールバスの一般混乗も開始。（登校便にのみ乗車可能。地域住民に限定。）

令和 3 年 9 月からは 75 歳以上の人、障がいのある人への無償化を実施。および運転免許証自主返納者への回数券進呈も行っている。（バス回数券 50 回分あるいは乗り合いタクシーの回数券）

<主な質疑応答>

Q1：「みなくるバス」の課題は。

A1：利用者を増やすためのルート設定を工夫し狭い道も走るようにしている。今後も地元と協議していく。バスが走っていない地域に「みなくるバス」を走らせようとした際に関係団体（特にタクシー業界）からの反発があり調整が大変だった。

Q2：事業者の契約内容はどのような形態か。

A2：運行委託ではないため契約はしていない。事業者が赤字路線から撤退しないよう「廃止路線代替バス運行引受書に関する覚書」を交わし、その後、協議路線として運行を継続してもらい赤字補填を行っている状況。

Q3：利用者数の変化について。

A3：路線により異なるが、1 日 21 人～95 人。コロナ前（20.2～116.2）には戻っていない。令和 1 年に比べ令和 4 年は 84% 程度。

Q4：便数はあまり多くないが運行本数での不満はないか。

A4：高齢者が利用することが多く、本数の要望はない。バス停の移動や路線の延伸や新設に関する要望が多い。

Q5：高齢者や障がい者の方を対象とした運賃無償化事業をしているが、背景と財源、および今後の継続の考えは。

A5：現市長の選挙公約に掲げた内容の実施。一般財源による。現市長の思いが強いので継続され则认为る。

Q6：今後のコミュニティバスの継続性についての考えをお聞かせください

A6：バス業界の状況は厳しいため同じ内容で継続できるか心配している。特に

人材確保に苦勞している。それらを踏まえ地域公共交通計画の改定を行う。
また、費用も年々増加しており効率性を重視した方法に変換が必要である。

<所管>

水俣市では地域公共交通計画のコミュニティバス「みなくるバス」および「乗合タクシー」は市民、特に高齢者にとって、無くてはならない交通手段になっており、有効に活用されていることがわかった。費用面では、当初「みなくるバス」を開始した直後は、以前の補助金を出していた時よりも支出が減っていた時期もあったが、その後、年々費用が増加し、コロナ影響を含む利用数の低下が課題であること。そして、公共交通の維持や利便性向上および費用悪化についての現実の課題を聞くことができ、大変有意義な視察となった。

本市では現在、コミュニティバスや乗り合いタクシーは運行しておらず事業者によるバス運行のみであるが、市民からはコミュニティバスを望む声を複数聞いている。また、これまで、乗客数の減少および補助金の増加となっていることから、今回の視察内容を参考にするとともに、今後も情報収集と研究を継続し、費用面の課題や人材不足の課題を乗り越え、将来も持続可能で利便性の良い方法の提案につなげたい。

◆ 2 日目 8 月 3 日（木） 13 : 30 ～ 熊本市役所

視察先：熊本県熊本市

<熊本市の概要>

九州のほぼ中央に位置している。面積は、390.32 km²、人口は、736,245 人。市内には、熊本城や水前寺成趣園などの、熊本観光の目玉が点在する。約 74 万人という人口を有しながら、水道水源すべてを天然地下水でまかなっている。これは、人口 50 万人以上の都市では、日本で唯一、世界的に見ても大変稀である。

<研修内容：「フレンドリーオンライン事業」不登校対策について>

●事業を計画するに至った経緯

不登校児童生徒の現状は、年々増加しつづけ、どこにもつながっていない児童生徒数は、400 人を超えている。

臨時休校中（コロナによる）の、オンライン授業に入ることができた不登校生は、小学校 34.4%、中学校で 39.7%。学校再開後、登校できた不登校生は、小学校 41.4%、中学校で 31.3%。不登校生徒児童に、オンライン授業は必要である。

●不登校児童生徒への支援について

学校

- ・教室での支援（学級支援員等）
- ・別室での支援（不登校対策サポーター等、心のサポート相談員（小学校のみ））
- ・学校の授業配信

フレンドリー（教育支援センター 市内に5カ所）

フリースクール

フレンドリーオンライン

コア・フレンド（大学生による対話）

スクールカウンセラー（心理の専門家）

スクールソーシャルワーカー（福祉の専門家）

●フレンドリーオンライン配信拠点校

・本荘小学校

通常学級 5学級

支援学級 2学級

全校児童 60人

・芳野中学校

通常学級 3学級

支援学級 1学級

全校児童 27人

・再任用の先生方だけで配信

内容

- ① セルフタイム（学習アプリ「すらら」を活用した学習）
- ② クリエイティブタイム（創造的な学習活動・技術美術など）
- ③ ムービータイム（動画コンテンツを活用した学習）
- ④ ミッションタイム（課題解決型学習）
- ⑤ 国算タイム（国語・算数の学習）
- ⑥ ベーシックタイム（中学校の各教科の先生による、授業配信）
- ⑦ わくわく学習（Inspire High キャリア学習・GTによる出前授業）
- ⑧ 心すっきりタイム（SCによる配信）

・行きたい、やってみたいなど、外に出るきっかけ作りに。

・先生方の手描きのリアクションが好評。

●オンラインカウンセリング

総合支援課で、オンライン または、直接カウンセリングが受けられる。

●社会自立に向けて フレンドリーオンライン

心の居場所づくり × 学習保障 → 社会的自立につながる。

【時間割（内容）】研修説明資料から抜粋



フレンドリーオンライン芳野中学校 基本の時間割（2学期から）

時刻	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
9:30~10:00	①スタートタイム				
10:00~11:00	②セルフタイム (すらら学習)	②セルフタイム (すらら学習)	⑦わくわく学習 ②セルフタイム	②セルフタイム (すらら学習)	②セルフタイム (すらら学習)
11:15~12:00	④ムービータイム	③ミッションタイム	⑧ジャーネットタイム	④ムービータイム	④ムービータイム
12:00~14:00	昼 休 み			昼 休 み	
14:00~14:45	⑤ベーシックタイム/⑥クリエイティブタイム			⑤ベーシックタイム/⑥クリエイティブタイム	
14:45~15:00	⑧ジャーネットタイム			⑧ジャーネットタイム	

【時間割（事例）】研修説明資料から抜粋

令和5年度（2023） 本荘小 フレンドリーオンライン 時間割 ⑬ パスコード

	7月10日（月）	11（火）	12（水）	13（木）	14（金）
A 9:20~9:45	Aルーム スタートタイム（1~6年）		Bルーム	Aルーム スタートタイム（1~6年）	Cルーム
	すらら		わくわく学習	すらら	
Bルームか Cルームか を選びま す。	Bルーム	Cルーム	Bルーム	Bルーム	Cルーム
1					
2 10:00 ~10:25	3/4年算 チャレンジ さんすう	6年 理ム 色が変わる炎	6年 算数 チャレンジ 算数	4年 理ム 夏の星空	
3 10:35 ~11:00	5年理ム うつりかわる 天気	3年 国語 面白い本を 紹介します	3年 理ム 夏休みの 自由研究	5年 国語 面白い本を 紹介します	心 タす イっ きり
	クリエイティブ			ミッション	
4A 11:15 ~ 12:00	コマコマアニメーション		10:30~11:30 「現代美術館 げんたいびじゅつかん」 ID: PW:	自分のことを つたえよう	4/5年社ム 一度押した だけで 6年国語 本の紹介
	ミニジャーネットタイム			ミニジャーネットタイム	ミニジャーネ
5 12:00 ~14:00	昼ごはん 休けい (Zoomは1退出します)		ジャーネットタイム 11:50	昼ごはん 休けい (Zoomは1退出します)	昼ごはん 休けい (Zoomは1退出します)
6 11:55~12:20 14:20 ~14:50	セルフ学習			セルフ学習	セルフ学習
A 12:50~13:00	ジャーネットタイム			ジャーネットタイム	ジャーネットタイム

① 9:20からZoomをひらきます。② スタートカード提出は9:20~9:40です。③ 金曜日は、Cルームだけの配信になります。
 *Aルームからの配信・・・水色 Bルーム・・・ピンク色 Cルーム・・・黄色 (金曜日は、Cルームでスタートタイムをします。)
 ※水曜日の「わくわく学習」は「インスパイアハイ」と「qタイム」です。10時15分に終了します。(水曜日は、Bルームでスタートタイムをします。)

- フレンドリーオンライン 申し込みについて
 - 誰ひとり取り残さない
 - 教育 ICT を活用した オンライン学習支援
 - 学校への登校が難しい児童生徒が 周囲とつながりながら、自分のペースで学びを進める機会を保障する
 - 初めに QR コードから、体験を申し込める (1ヶ月)
 - 体験後、正式申込を、現在在籍している学校に提出
- フレンドリーオンライン の課題と解決策
 - ・生徒同士の コミュニケーション
 - バーチャル教室 (チャット・音声・ビデオ)
 - バーチャル教室での、学校生活の模擬体験
 - 学習意欲の向上
 - 自己肯定感の高まり
 - コミュニケーションへの 積極的な姿勢
 - ・在籍学校との連携
 - ・持続可能な体制づくり
 - 人材の確保と研修など

【熊本市教育委員会の資料】 研修説明資料から抜粋

熊本市教育委員会	
実証研究概要	活用する先端技術
実証研究テーマ 「フレンドリーオンライン」×「バーチャル空間」×「ダッシュボード」 ×「自立走行型ロボット」による不登校児童生徒支援の充実	AI機能付き学習アプリ - 児童生徒の解答傾向から問題の難易度を自動調整する。 キャリア教育プラットフォーム 「動画でのインプット→自分の考えのアウトプット→他者へのフィードバック→リフレクション」のサイクルで学べるプラットフォーム バーチャル教室 (メタバース空間) - 仮想空間上の教室でアバターを介して音声やチャットによるコミュニケーションができる。三次元のメタバース空間も活用する。 不登校児童生徒支援ダッシュボード - RPA (ロボティクス・プロセス・オートメーション) が人に代わって各種オンラインツールの使用履歴の取得と学習記録を行い、ストレージへ記録する。 自律走行型パーソナルロボット - 自律走行・遠隔操作・ビデオ通話機能を搭載。自身の分身として学校に設置することで遠隔地からリアルな授業見学・参加ができる。
解決・改善を目指す教育課題 - 学校個別に行われているケースが多い不登校児童生徒支援のオンライン集約支援モデルの確立 - オンラインから実教室へ復帰する際のコミュニケーション体験手法の改善	
取組概要 - 令和4年度後半に開始した新たな先端技術活用 (バーチャル教室、ダッシュボード) の本格展開、および効果検証 (学習意欲、コミュニケーション意欲、自尊感情の改善を把握) - 令和4年度に一定の効果を確認されたバーチャル教室のより発展的な活用 (実空間に横たわった3D空間で学校生活の模擬体験を行う) - フレンドリーオンラインから実教室への復帰に伴う心理的障壁の低減 (復帰検討時の学校見学や復帰後のリアル登校の支援)	
実証校 熊本市立本荘小学校 (実証対象児童数: 63人) 熊本市立芳野中学校 (実証対象生徒数: 194人) ※フレンドリーオンライン配信拠点校	バーチャル教室 (メタバース空間) 
技術提供元 株式会社すららネット - e-ラーニングによる教育サービスの提供および運用コンサルティング、マーケティングプロモーション及びホームページの運営 株式会社Inspire High - 動画視聴、投稿、共有機能の付いたオンライン学習プラットフォームの提供 NTTコミュニケーションズ株式会社 - クラウド・データセンター・移動/固定ネットワーク・5G/IoT/XR等の各種先端ソリューションを提供。企業のDXを通じて、地域・社会課題の解決を推進。	自律走行型パーソナルロボット  (NTTコミュニケーションズHPより)
	期待される成果や知見 - オンライン学習支援プログラム「フレンドリーオンライン」における、バーチャル教室やダッシュボードといった先端技術の本格運用とその効果検証により、一人一台タブレットを活用したフルオンライン形態の不登校児童生徒支援のモデルケースの確立が期待される。 - 児童生徒のコミュニケーション意欲等の向上により、検討機会が増えつつある通常教室への復帰においても、顕在化している課題に取り組むことで、フルオンライン学習支援～実教室への接続までのより広範囲な支援モデルとなり得る。

◆ 3 日 目 2 0 2 3 年 8 月 4 日（金） 10：00 ～ 別府市役所

視察先：大分県別府市

＜別府市の概要＞

九州の北東部、瀬戸内海に接する大分県 東海岸のほぼ中央に位置している。

面積は 125.34 km²、人口は 令和 5 年 113,283 人、年々減少している。

市内には、古くから「別府八湯」と呼ばれる温泉群が点在し、2,800 を数える源泉から湧出する温泉は、毎分 約 1 0 万 3 千 リットル にも及び、医療、浴用等々、市民生活はもとより 観光・産業面にも 幅広く利用されている。

＜研修内容：「別府市の空き家等対策について」＞

空き家率が 年々増加し、2018 年には、1 8 . 2 % になっている。

平成 2 6 年 1 1 月 空家等対策の推進に関する 特別措置法制定。

平成 2 7 年 4 月 別府市にて 空き家業務開始。

平成 2 7 年 9 月 別府市空き家バンク開始。

平成 2 9 年 3 月 別府市空家等対策計画策定。

令和 3 年 4 月 業務が 2 課に分かれる。

空き家対策担当 （都市計画課）

空き家活用担当 （産業政策課）

令和 5 年 4 月 空き家対策・活用担当の一本化 （都市計画課）

●空き家等実態調査について

ゼンリンに業務委託にて実施。

3,600 件で委託料 6 0 0 万円。

●調査内容

令和 4 年 1 0 月から令和 5 年 1 月 市内全域で実施。

調査方法は、市の保有する 空き家情報とその他の方法により得られた空き家情報をもとに、調査対象空き家を抽出後、全踏調査にて 外見目視により、空き家の状態を調査。

●空き家の状態

外観状況（擁壁、屋根、外壁、建物の傾き等）を調査し、物理的損傷の度合いに応じて 評点を設定し、加点方式で評価。

A. 現状のまま利用可能 3 4 %

B. 小規模な修繕で利用可能 4 4 %

C. 補修しないと利用不可能 1 4 %

（倒壊の可能性なし）

D. 利用不可能 8 %

（倒壊の可能性あり）

●空き家対策への基本方針

「日常生活が便利で、誰もが快適に暮らせる、安心安全な居住環境」の保全を図るため、空き家対策を推進する。

・予防

リーフレット配布

- ① 県が主体になり、NPO法人に 空き家の相談窓口等を委託。
- ② シルバー人材センターと協定締結。
- ③ 財産管理人制度活用。
- ④ 意向調査。(今年度実施予定)

・活用

- ① 平成27年9月より空き家バンク。

一戸建て、長屋にくわえ 店舗等も拡充予定

- ② 利活用補助金。

空き家バンクに登録することで、利用可能な補助金対象は、所有者及び移住者

- ③ お試し移住施設。

空き家を所有者から借り、本市への移住を検討している方へ、低料金で長期宿泊できる施設を提供

・管理・除却

- ① 別府市老朽危険空き家等除却推進事業
条件

- 木造住宅の空き家
- 周辺の住環境を阻害しているもの（職員による判定）
- 不良住宅（職員による判定）
- 世帯の生計中心者の前年の 合計所得金額 2,714,000 円以下
解体費の1/2 最大 50万円 10件/年

- ② 特定空き家の無償譲渡を前提とした 除却の推進

・コミュニケーション

空き家総合窓口（都市計画課）

- ・令和5年8月 第2次空家等対策計画を策定

以上